

2016年3月期 第2四半期 業績概要

橋本 裕一

アンリツ株式会社
代表取締役社長 グループCEO

2015年10月30日



東証第1部 : 6754
<http://www.anritsu.com>

Anritsu
envision : ensure

注記

本資料に記載されている、アンリツの現在の計画、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。将来の業績等に関する見通しは、将来の営業活動や業績に関する説明における「計画」、「戦略」、「確信」、「見通し」、「予測」、「予想」、「可能性」やその類義語を用いたものに限定されるものではありません。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因は、アンリツの事業領域を取り巻く日本、米州、欧州、アジア等の経済情勢、アンリツの製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場の中でアンリツが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供できる能力、為替レートなどです。

なお、業績に影響を与えうる要因はこれらに限定されるものではありません。また、法令で求められている場合を除き、アンリツは、あらたな情報、将来の事象により、将来の見通しを修正して公表する義務を負うものではありません。



表紙の右イメージ図は、1912年、アンリツの前身、安中電機が製作した元祖スマホとも呼ぶべきTYK無線電話機です。

目次

I. 2016年3月期第2四半期 業績概要

I - 1. 事業概要

I - 2. 連結決算概要

I - 3. 2016年3月期 通期業績予想（連結）

II. その他

II - 1. T&M事業 事業機会と取り組み

II - 2. PQA事業 グローバル展開に向けた取り組み

II - 3. コーポレートガバナンス

Appendix

I - 1. 事業概要

T&M事業

開発・製造・建設・保守用

- ▶ モバイル市場 : LTE, 3G
- ▶ ネットワーク・インフラ市場 : 有線・無線NW
- ▶ エレクトロニクス市場 : 電子部品、無線設備



PQA事業

- ▶ 食の安全・安心
- ▶ X線異物検出機
- ▶ 重量選別機



その他

- ▶ IPネットワーク機器
- ▶ 光デバイス



(セグメント別売上比率) 2015年3月期 実績 (連結) : 988億円

T&M 74%			PQA 16%	その他 10%
モバイル 50%	ネットワーク・インフラ 30%	エレクトロニクス 20%		

(T&M事業 地域別売上比率)

日本 15%	アジア、パシフィック 35%	米州 30%	EMEA 20%
-----------	-------------------	-----------	-------------

T&M: Test & Measurement PQA : Products Quality Assurance

I - 2. 連結決算概要 - 事業別状況 -

セグメント	2016年3月期第2四半期（4月-9月）の状況
 T&M：モバイル市場は総じて投資抑制が続く	
モバイル	チップ・端末の大手ベンダーがリストラ実施
NW	光デジタル関連への設備投資堅調
エレクトロニクス	モジュール開発・業務用無線で回復基調
アジア	モバイルのR&D需要は増加するも、製造設備の更改需要は鈍化
米州	通信キャリアの建設投資に抑制傾向
 PQA：国内コンビニ市場中心に設備投資が増加	

T&M: Test & Measurement

NW: Network Infrastructure

PQA : Products Quality Assurance

I - 2. 連結決算概要 - 業績サマリー -



スマホ開発・製造ベンダーの投資抑制等で減益

(単位：億円)

国際会計基準(IFRS)	前第2四半期 連結累計期間 (4-9月)実績	当第2四半期 連結累計期間 (4-9月)実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率(%)
受注高	489	478	△ 11	△ 2%
売上高	480	490	10	2%
営業利益	46	32*	△ 14	△ 30%
税引前利益	50	32	△ 18	△ 36%
当期利益	35	24	△ 11	△ 32%
当期包括利益	51	25	△ 26	△ 51%
フリーキャッシュフロー	51	4	△ 47	△ 92%

(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

*リストラ費用約4億円含む

I - 2. 連結決算概要 - 受注高推移 -



T&M：モバイル市場の投資抑制が続く



PQA：新製品が設備更改需要をとらえ、高水準続く

億円
300



(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

I - 2. 連結決算概要 - 事業別売上高・営業利益 -

(単位：億円)

国際会計基準(IFRS)		前第2四半期 連結累計期間 (4-9月)実績	当第2四半期 連結累計期間 (4-9月)実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率(%)
T&M	売上高	367	359	△ 8	△ 2%
	営業利益	47	32*	△ 15	△ 33%
PQA	売上高	77	93	16	21%
	営業利益	1	6	5	338%
その他 (含：内部消去)	売上高	37	39	2	5%
	営業利益	△ 2	△ 5	△ 3	-
合計	売上高	480	490	10	2%
	営業利益	46	32*	△ 14	△ 30%

(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

*リストラ費用約4億円含む

T&M: Test & Measurement

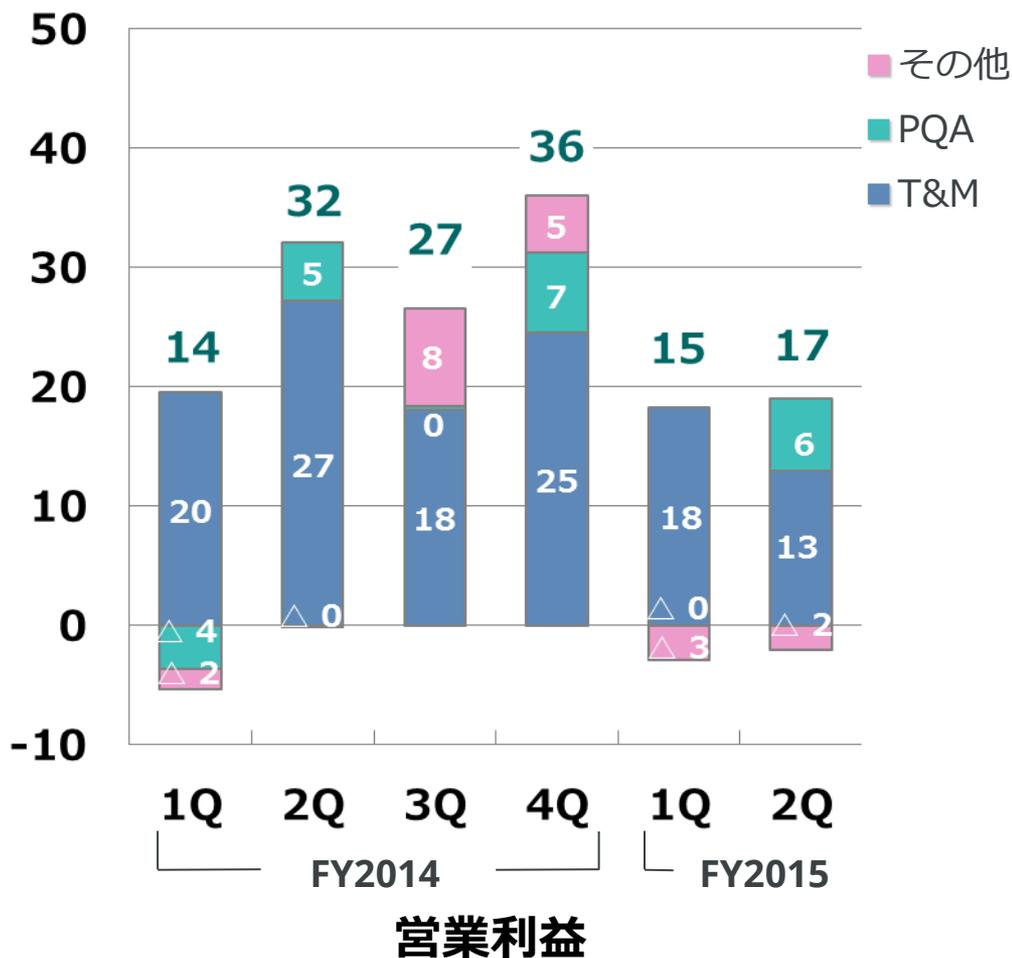
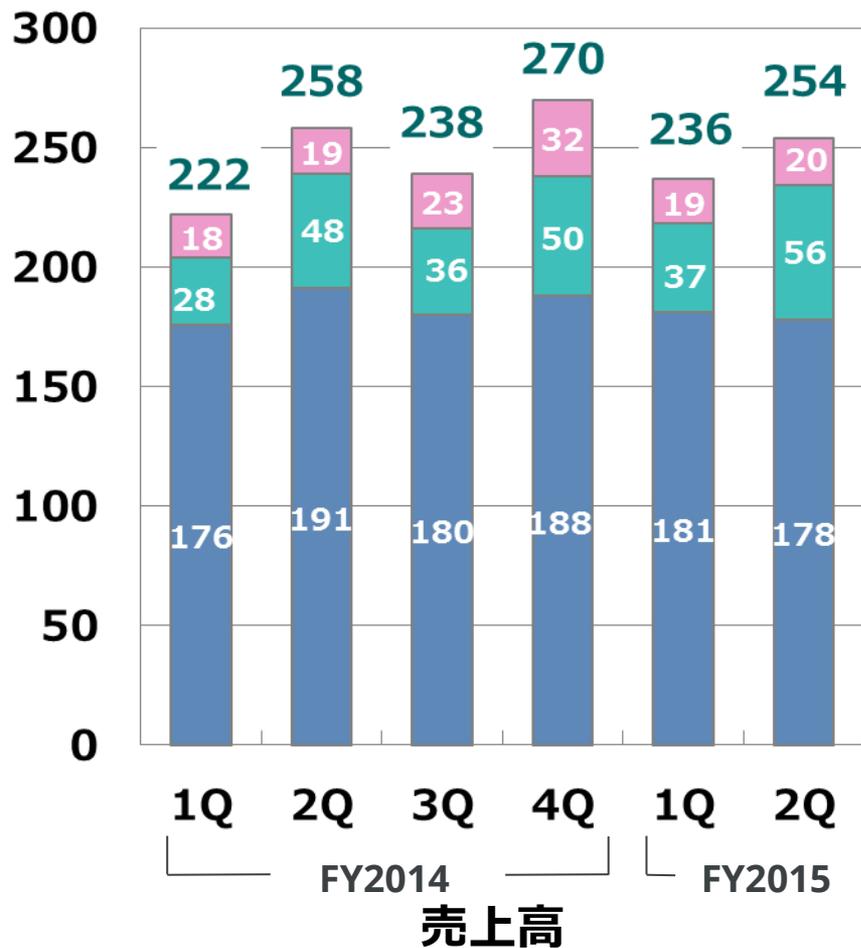
PQA : Products Quality Assurance

I - 2. 連結決算概要 - 四半期毎 売上高・営業利益 -

▶ 第2四半期の営業利益率 6.7% T&M 7.5% PQA 10.3%

億円

億円

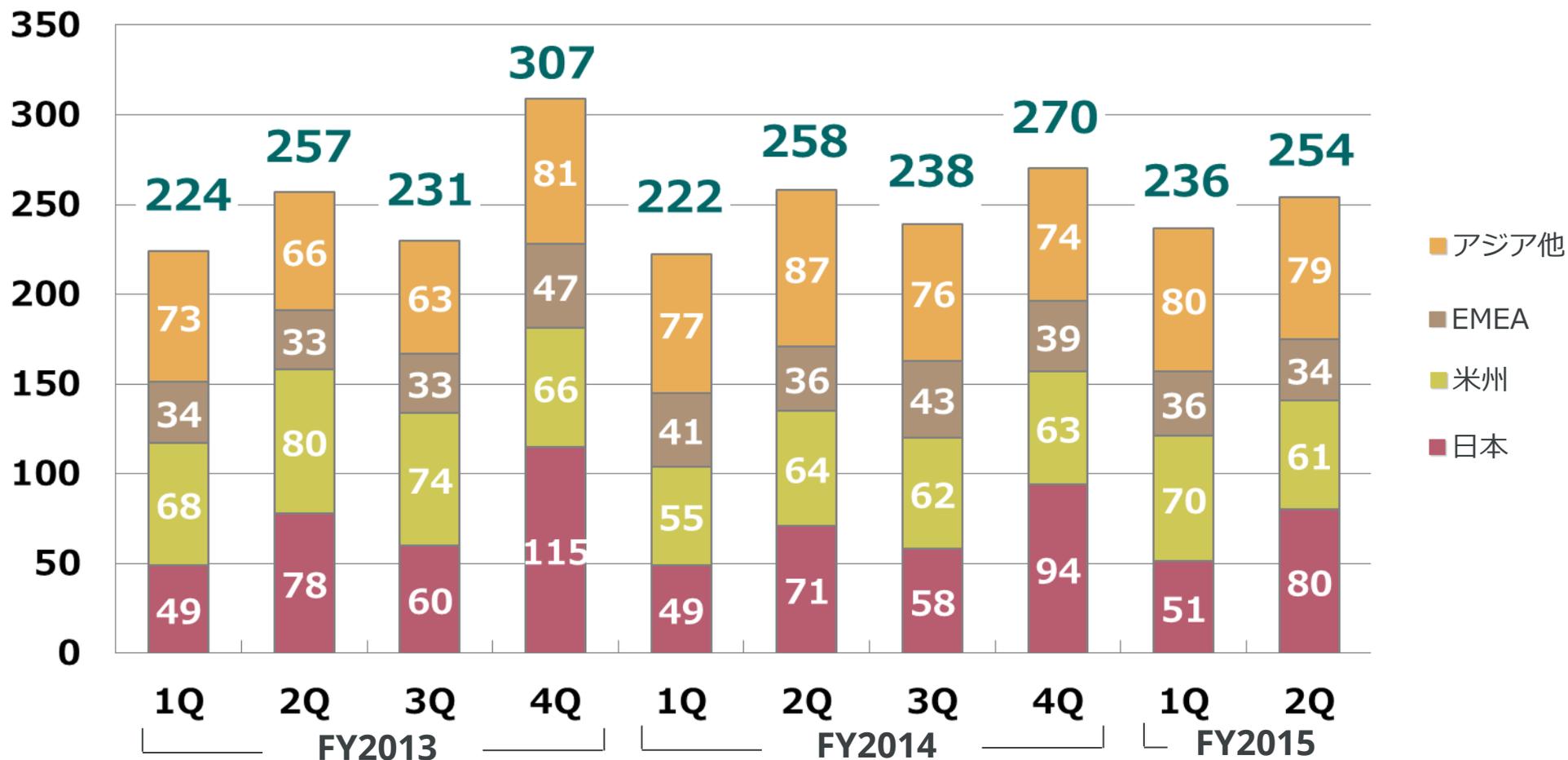


(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

I - 2. 連結決算概要 - 地域別売上高推移 -

▶ 全体として前年並み確保。日本(T&M,PQA)が増収。

億円



(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

I - 2. 連結決算概要 - キャッシュフロー -

▶ 営業CFマージン率13%

FY2015 Q2 (累計)

- ①営業CF： 65億円
- ②投資CF：△ 60億円
- ③財務CF： 41億円

フリーキャッシュフロー

(①+②)： 4億円

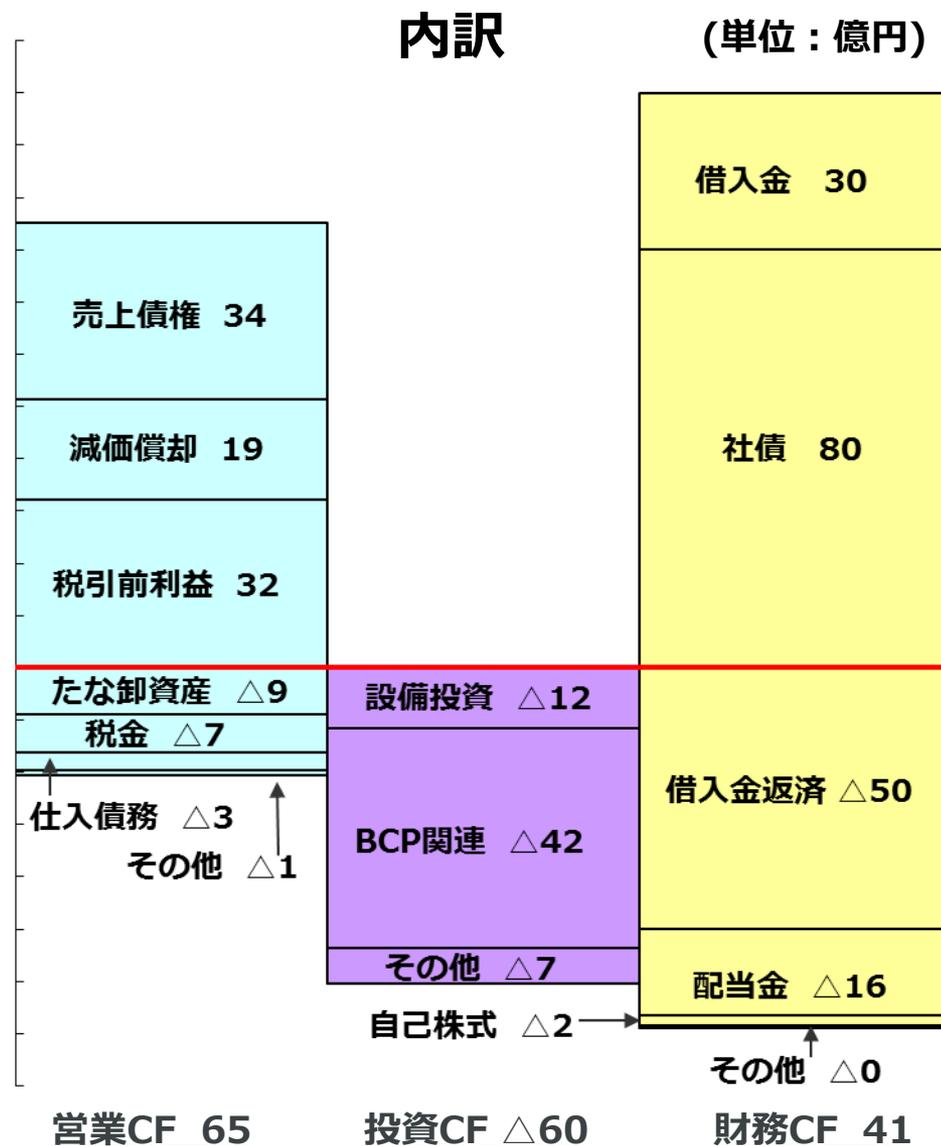
現金同等物期末残高

394億円

有利子負債高

220億円

(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入



I - 3. 2016年3月期 通期業績予想 (連結)

 4月開示より変更なし

(単位：億円)

国際会計基準(IFRS)		2015/3期	2016/3期		
		前期実績	通期予想	前期比 増減額	前期比 増減率(%)
売上高		988	1,030	42	4%
営業利益		109	110	1	1%
税引前利益		116	109	△ 7	△ 6%
当期利益		79	80	1	2%
T&M	売上高	734	750	16	2%
	営業利益	89	90	1	1%
PQA	売上高	162	180	18	11%
	営業利益	8	11	3	33%
その他 (含：内部消去)	売上高	92	100	8	9%
	営業利益	11	9	△ 2	△ 19%

(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

(参考) 想定為替レート：1米ドル115円、1ユーロ=130円

Ⅱ. その他

Ⅱ - 1. T&M事業 事業機会と取り組み

Ⅱ - 2. PQA事業 グローバル展開に向けた取り組み

Ⅱ - 3. コーポレートガバナンス

Appendix

II - 1. 事業機会と取り組み (モバイル開発市場)

モバイルR&Dビジネスのドライバー

Now

5G

M2M / IoT

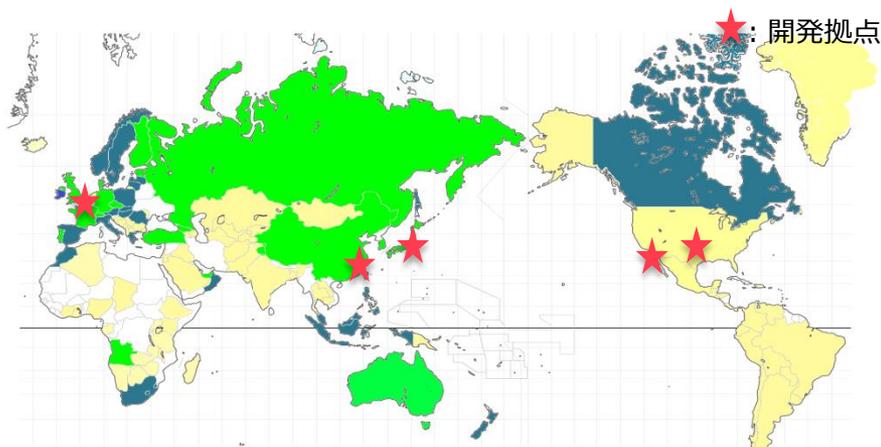
アジア市場: グローバル企業の台頭

2G

3G

4G/LTE

LTEサービス状況と開発拠点



LTE
~150Mbps

2CA :
~300Mbps *1

3CA :
~450Mbps *2

*1: Commercially launched / in deployment / trial or study phase

Source: GSA (2015.7) *2: in deployment / trial or study phase

最適なソリューションとサポート開発体制の充実

- 中国R&D機能の拡充
- MT8821C 販売開始
 - 業界初 1台でDL 4CAに対応
 - タッチパネルで操作性向上

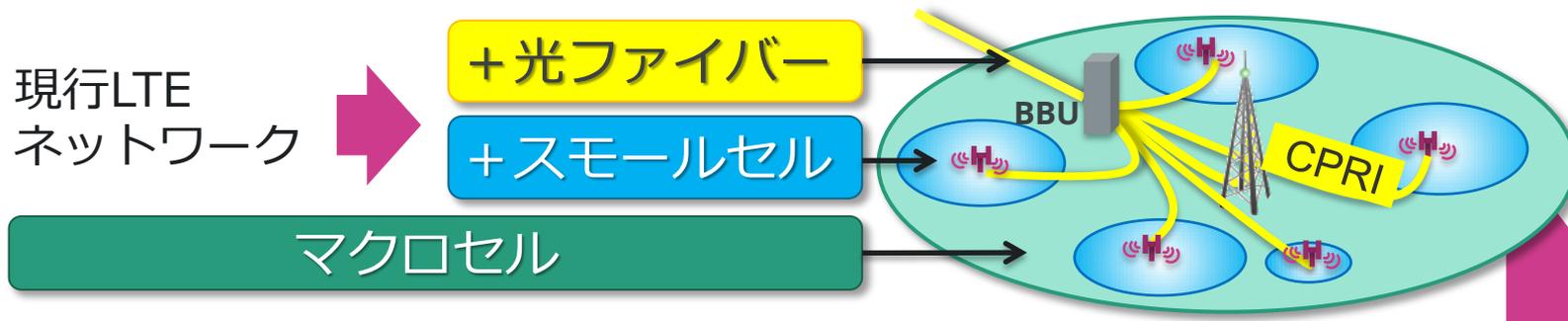


GOOD DESIGN AWARD
2015年度受賞

MT8821C ラジオ コミュニケーション アナライザ

II - 1. 事業機会と取り組み (ネットワークインフラ市場)

大量の接続とデータ容量の増大を支えるネットワークに



ネットワークの革新を テストソリューションの進化で支える



GOOD DESIGN AWARD
2015年度受賞

MT1000/1100
Network Master

有線測定

+ Cloud Solution

+ 光 CPRI



MT8220T
BTS Master

無線測定

機能強化 継続中

+ 光 CPRI

IoT/5Gに向けて
さらに進化へ

Reshaping the Future
of Network Test
solution

II - 2. PQA事業: グローバル展開に向けた取り組み

1. グローバルなブランド戦略の構築

- 「Anritsu Infivis」に社名変更 (10月1日付け)

2. 北米市場に新型X線検査機「XR75」を投入

新型X線検査機「XR75」が「優秀食品機械」を受賞

高感度

長寿命



「日食優秀食品 機械資材・素材賞」
日本食糧新聞社

Ⅱ-3. コーポレートガバナンス基本方針の制定

当社は、東証の定める「CGコード」の諸原則を支持し、より良いCGを実現するための考え方と、組織体制・しくみなどを示すとともに、その整備・改善に取り組んでいきます

1. 総則

- 1.1 経営理念・経営ビジョン・経営方針の策定
- 1.2 コーポレートガバナンスに関する基本的考え方
- 1.3 内部統制システムの構築と運用

2. ステークホルダーとの関係

3. 適切な情報開示と透明性の確保

4. コーポレートガバナンスの体制



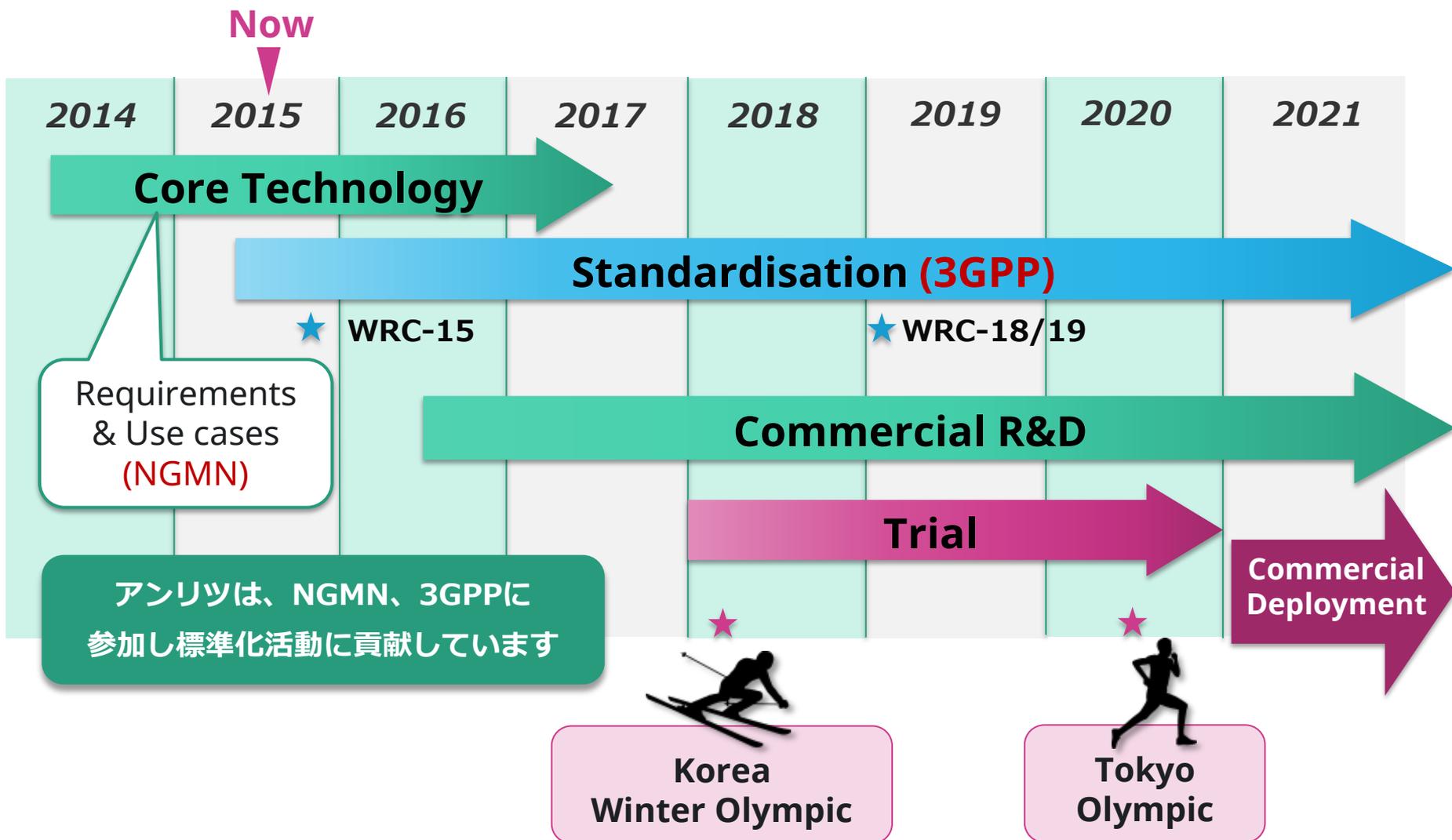
企業価値向上
利益ある持続的成長

Webサイトに掲載

<http://www.anritsu.com/ja-JP/about-anritsu/corporate-information/corporate-governance>

CG: コーポレートガバナンス

Appendix. 5G roadmap (CY2015 ~CY2020)



*NGMN: Next Generation Mobile Networks

*3GPP: Third Generation Partnership Project

*WRC : World Radiocommunication Conference

Anritsu
envision : ensure